

博覧会協会における 予算執行管理について

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

2024年1月25日

博覧会協会における執行管理について（予算のフレーム）

○博覧会協会は、予算を3種のフレーム（会場建設費・運営費・委託費）で執行管理を行っている。

	収入	予算
会場建設費	<ul style="list-style-type: none"> ・国 1 / 3 ・大阪府市 1 / 3 ・経済界 1 / 3 	誘致時（2017年 9月） 1250億円 基本計画策定時の資金計画 （2020年12月） 1850億円 建設費改訂（2023年10月） 2350億円
		補助金 寄付
運営費	<ul style="list-style-type: none"> ・入場券収入 ・その他収入 （ロイヤリティ/ライセンス収入等） 	誘致時（2017年 9月） 809億円 基本計画策定時の資金計画 （2020年12月） 809億円 運営費 資金計画案(理事会未了) 1160億円
協会が 受託する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・国からの委託費 	日本政府館（設計・建設以外の事業） 途上国支援 会場内の安全確保

※協賛事業は用途指定のためプロジェクト単位で収支を管理

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 組織概要

【沿革】

2019年1月30日
法人設立

2019年4月19日
万博特別措置法成立

2019年5月31日
経済産業大臣が当協会を
博覧会業務を行う法人に指定

2019年10月21日
内閣府より公益認定を受け、
「公益社団法人」となる

【事務局組織図】

事務総長
石毛 博行

副事務総長
小野 平八郎

副事務総長
高科 淳

副事務総長
東川 直正

副事務総長
田中 清剛

副事務総長
樺 真夏

局	部	課
総合戦略室		
	経営企画室	
総務局	総務部	監査室
		秘書室
		総務課
		人事課
		法務課
	財務部	経理課
		資金管理課
		調達課
		契約課
広報・プロモーション局	企画部	企画課
		事業推進課
		共創推進課
	広報部	広報企画課
		広報報道課
		デジタルコミュニケーション課
		海外コミュニケーション部
	地域・観光部	地域連携課
		観光推進課
		入場券部
企画局	企画部	営業推進課
		販売・予約推進課
		企画課
		企画事業課
		テーマ事業課
	出展課	
	テーマウィーク課	

局	部	課
企画局	持続可能性部	企画課
		脱炭素課
		資源循環課
催事局	催事部	催事1課
		催事2課
ICT局	ICT部	ICTシステム課
		サイバーセキュリティ課
		バーチャル課
会場運営局	来場者サービス課	来場者サービス課
	運営管理部	ボランティア課
		運営管理課
危機管理局	危機管理部	物流課
		危機管理課
交通局	交通部	輸送企画課
		輸送調整課
		道路交通対策課
		道路交通施設課
整備局	整備調整部	整備調整課
		建築調整課
	会場整備部	土木インフラ課
		建築1課
		建築2課
国際局	国際部	建築3課
		企画課
		参加調整課
		支援業務課

12局(室) 19部 52課(室)

【人員】(2023.12.1時点)


国・大阪府・大阪市・関西広域連合構成府県
市・経済界等より職員を派遣(約690名)

※経営企画室は協会全体の予算管理・執行方針の取りまとめを行う

財務部は協会全体の収支管理、補助金申請手続き等を担当

調達部はコスト低減等の観点から、各事業担当局が行う調達の適正性を検証

各事業担当局(整備局、交通局、ICT局等)において事業を実施

 枠囲の部課室が予算執行管理の主担当

博覧会協会における執行管理について

①手続き

②外部知見の活用

参考：会場建設費の発注経緯

博覧会協会における執行管理について（手続きの流れ）

○契約前には、局単位で設定した予算上限の範囲で効率的な事業執行が行われるか、各段階で確認を行っている。

ステップ1 査定

< 経営企画室及び財務部 >

- ・各局からの要望をヒアリングした上で、局毎の予算額を査定



ステップ2 プロジェクト別予算計画

< 各局 >

- ・査定額の範囲内で、各局において具体的なプロジェクトに予算を張り付け



ステップ3 発注手続き

< 各局・財務部及び調達部 >

- ・契約の相手方の選定方法は、原則競争性のある方式（入札又は公募型プロポーザル等）を採用する
- ・契約予定案件につき各局は、財務部に対し事業の必要性及び予算の裏付けのある発注であること、調達部に対し予定価格や調達方式が適正であることを事前に説明し、両部はそれを確認する
- ・会場建設費で実施する事業については、国（経済産業省）及び大阪府市に対し、年度毎に補助金交付申請を行うとともに、執行にあたっての事前協議を行っている
- ・契約事務の透明性、客観性及び適正な履行の確保を目的として、外部委員（久保田有子弁護士、野田貴浩弁護士）を含む契約事務審査会を設置し発注の前に右表の基準に従い案件毎に審査を行う

①	競争入札または公募型プロポーザル	20億円以上
②	上記以外の方法による建設工事	1億円以上
③	上記以外の方法による測量・建設コンサルタント等業務	1千万円以上

- ・さらに20億円以上の契約については、契約事務審査会を経た後、発注前に理事会に付議
- ・公告後、公募型プロポーザルの提案は案件毎に過半を外部審査委員とする委員会を設置して審査



ステップ4 契約締結・実施

< 各局・経営企画室及び財務部 >

- ・契約毎に予算内で執行するとともに、更なる削減に努めている
- ・新たに生じる課題への対応に当たっては、局毎に優先順位を精査し確保した予算内で収まるよう調整
- ・局毎に配賦された予算の範囲を超える必要が生じた場合には、経営企画室において随時調整

博覧会協会における執行管理について（外部の知見の活用）

○会場建設費の執行について、協会は建設コンサルタントの知見を活用している。

1. 建設コンサルタントの有する知見の活用のため、コストマネジメント業務の契約を2社と実施
⇒施工業者から見積が提出された時点で、見積の妥当性を確認
 - ・契約2社は以下のとおり
 - 株式会社サトウファシリティーズコンサルタンツ
実施設計段階の建築4工区の施設整備にかかるコストマネジメント業務（22年8月～24年2月）
 - 株式会社アクア
建設工事段階の建築4工区の施設整備にかかるコストマネジメント業務（23年8月～25年2月）
設計段階の小催事場等のコストマネジメント業務（23年6月～24年2月）
2. コストマネジメントとは別に、プロジェクトマネジメント業務の契約を1社と行っている
⇒プロジェクトを戦略的に実行できるよう助言・管理支援を随時実施
 - ・契約1社は以下のとおり
 - 山下PMC／阪急CM企業共同体
プロジェクト全体の戦略的な実行と管理の支援業務（20年6月～）

参考：これまでの会場建設費の発注経緯

○会場建設費の執行について、基本設計から施工の主な流れは以下のとおり。

1 基本設計の発注

- ・施設種別にあわせて分割し複数の案件として21年3月から7月に順次発注を行った。
- ・設計者はプロポーザル方式及び一般競争入札方式により公募し選定を行った。
- ・施設種別は、会場全体レイアウト及びタイプBC、リング、大催事場、小催事場、迎賓館（以上プロポーザル方式採用）ゲート、管理施設及びサービス施設（以上一般競争入札方式採用）。
- ・そのほか、意欲的かつ大胆な提案による個性豊かで魅力的な博覧会施設を創出することを目的として、小規模施設等20施設についてプロポーザル方式により22年3月に発注し、若手建築家を登用する機会を設けた。
- ・会場基盤や電気設備、熱供給設備の設計についても20年11月より順次発注を行った。

2 工区の設定と実施設計・施工の発注

- ・一部を除き大阪港湾局による会場内の埋立は、2004年6月から23年2月にかけて順次完了した。
- ・基盤整備（土木）は6つに分類し、22年6月に請負契約、8月以降順次着工。

表：4工区の発注・契約日等

*その1で全体の造成。

*その2でウオータープラザ部分の表面固化。

*夢洲会場内は電気水道ガスなどが全くない状態のため、会場全体にインフラの埋設が必要であり、その3～その6の4つにエリアを分けて発注。

- ・施設（建築）は基本設計の成果をもとに、デザインビルド方式＝実施設計・施工のセットで22年4月に発注。

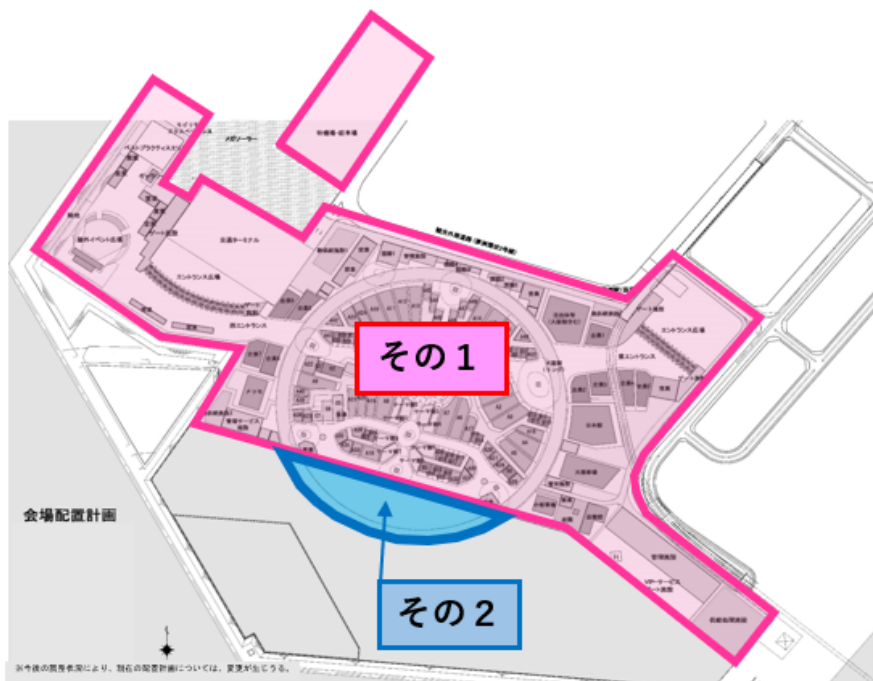
*会場全体を4つの工区に分け、工区受注者が工区内の各施行事業者間の工程などの調整を実施。

*大催事場、小催事場、迎賓館については一つずつ、テーマ館も個別に発注。23年4月以降に順次請負契約を締結、着工。

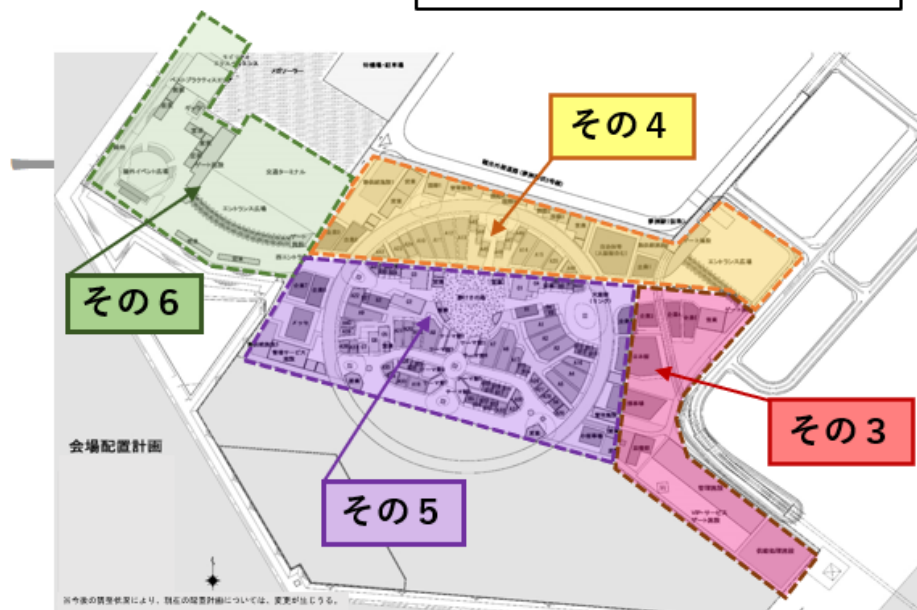
	発注	設計契約	工事契約
PW北東工区	2022年4月18日	2022年8月 4日	2023年4月21日
PW南東工区	2022年4月18日	2022年8月 1日	2023年4月19日
PW西工区	2022年4月18日	2022年8月10日	2023年4月18日
GW工区	2022年6月17日	2022年9月22日	2023年7月31日

参考：土木工事（工事請負） 工区割図

- : 会場基盤整備工事（その1）
- : 会場基盤整備工事（その2）

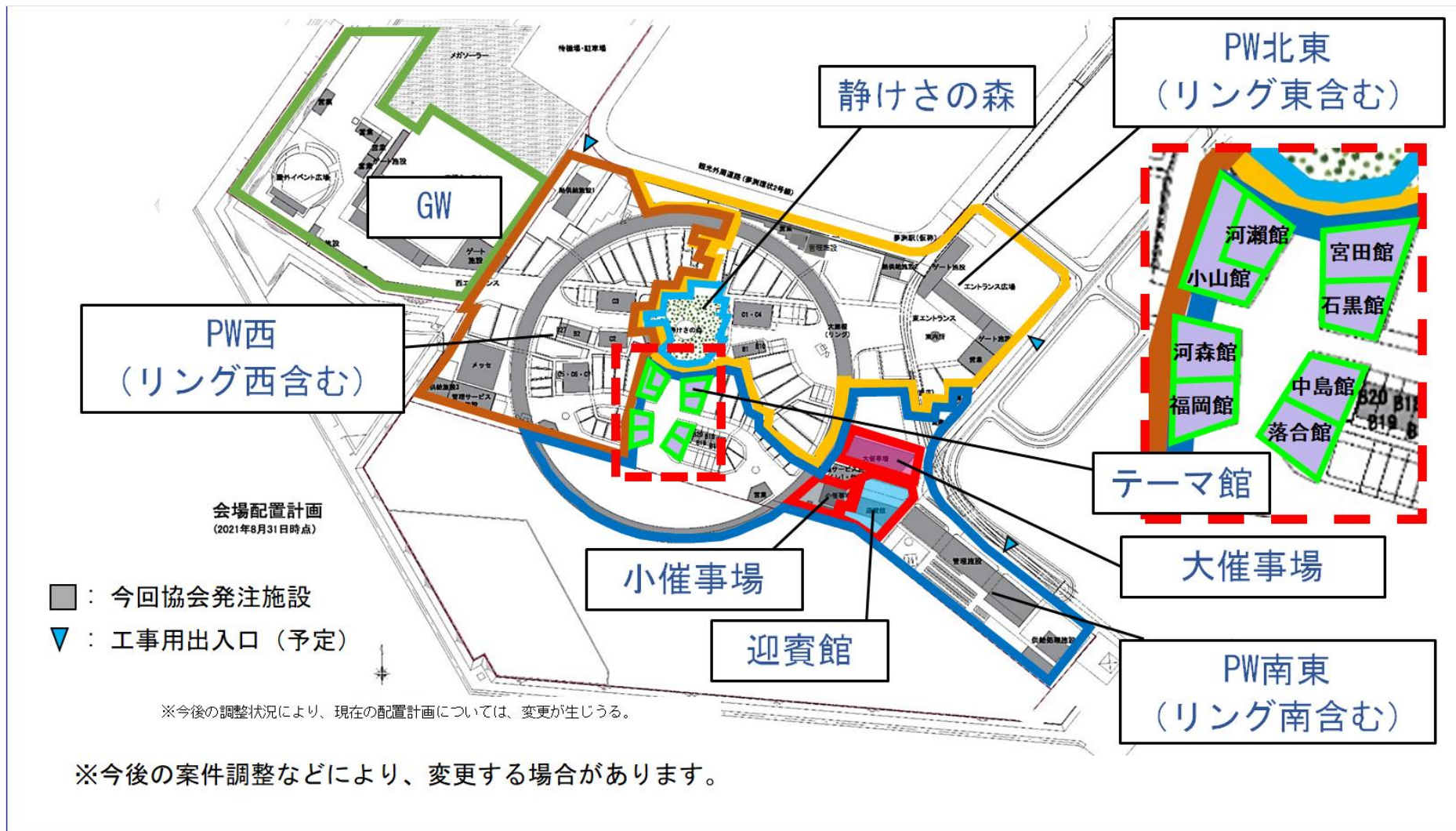


- : 会場基盤整備工事（その3）
- : 会場基盤整備工事（その4）
- : 会場基盤整備工事（その5）
- : 会場基盤整備工事（その6）



※今後の案件調整などにより、変更する場合があります。

参考：建築工事（業務委託・工事請負）工区割図



会場建設費の執行状況について（2023年11月末時点・23年12月理事会報告ベース）

（単位：億円）

執行項目	契約済			今後の予定		総合計
	金額	主な内容	前回比 (2023年9月末)	小計	主な内容	
大工区	841		+1	443	・会場内の舗装 ・暑さ対策設備 ・修景施設等の整備 ・各施設の安全対策設備 他	1,284
PW北東工区	229	・大屋根（リグ） ・パビリオンB、C ・管理施設、ゲート施設、 屋外イベント広場等の各種整備	+1			
PW南東工区	229					
PW西工区	259					
GW工区	104					
静けさの森工区	20					
主要施設	230		+18	65	・各施設の安全対策設備 他 ・トイレ、休憩所等(11棟)	295
大催事場	78	・各施設整備				
小催事場	43					
迎賓館	38					
テーマ館	49					
若手建築家施設	22					
土木工区	99	・園路基盤整備 ・雨水管、污水管、給水管、熱供給管、電氣管路、通信管路		33	・管路等撤去工事 他	132
インフラ設備 (電気・熱供給、通信、警備設備 等)	203	・電気・熱供給・通信設備	+2	75	・警備設備 他	278
交通施設	83	・会場外駐車場	+23	91	・会場外交通施設、 その関係設備・周辺整備 他	174
環境評価、委託関係	52	・基本設計業務 ・環境影響評価業務 ・プロジェクトマネジメント、コストマネジメント業務		5	・現契約案件の継続追加業務 他	57
合計	1,508		+44	712		2,220

※「今後の予定」の支出の内訳については、現時点での計画額であり今後の執行過程において変更する場合があります。

※一部、内訳端数調整有

予備費130億円